

誕生おめでとう
(2月28日まで届出分・敬称略)

(2月28日まで届出分・敬称略)

住 所		寄付者		故 人		年 齡		性 別		保 護 者		出 生 児		仮 宿 9 3 9 — 1	
西新町	追郷	山村	菱田	高吉	川越和博	本村洋志	拔迫淳一	男	女	上村知義	出原忠弥	玲旺	愛未琉	みさき	ふりがな
正坂	後迫	野方	1490	13	1490—3	佐土原千秋	渡部 剛	男	女	佐土原千秋	吉本清春	颶大	夕昊	れお	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
永吉	6631—2	5442	13	正吉	正志	(亡母)	(亡母)	女	女	那 望	出原忠弥	高吉	誠	りんせい	高吉
岡別府	東中小路	清山	中村	ミツヨ	ミツヨ	(亡妻)	(亡母)	男	男	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
牧	上郷	濱屋	中村	ミツヨ	ミツヨ	(亡妻)	(亡母)	女	女	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
岡別府	中村一	田中美保子	中村	ミツヨ	ミツヨ	(亡母)	(亡母)	男	男	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
中村	中村三	古川	中村	ミツ	ミツ	(亡夫)	(亡夫)	女	女	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
奈良原駒市	中村二	山王	田中美保子	ミツ	ミツ	(亡夫)	(亡夫)	男	男	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
新地	中村二	福留	中村	正美	正美	(亡母)	(亡母)	女	女	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
南中組	大村みどり	雪矢	中村ヨシ子	辰男	スズ子	(亡夫)	(亡夫)	男	男	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
大村みどり	(亡夫)	正利	中村ヨシ子	ユキ	スズ子	(亡母)	(亡母)	女	女	那 望	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。
一郎	44歳	74歳	96歳	66歳	72歳	81歳	58歳	88歳	93歳	78歳	吉本清春	渡部 剛	吉本清春	まわる	香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。

薩摩鄉句 三條風雲兒 選

大崎短歌会

大崎俳句会

北村虎王
はるの ふくおう

歌の友ら和服姿の晴ればれと
今日のひと日を淑女となりて
内田ちどり

鞍ときて湯氣立つ馬や雪しぐれ
轡口念
振袖をきりりと締めて弓始
山下 初枝

菱田
1490-3

本村洋志	川越和博	拔迫淳一	出原忠弥
性別	男	女	女
玲旺	愛未琉	みさき	みさき
那望	凛成	ふりがな	ふりがな
なみ	りんせい	あみる	あみる

野方5442—13
山村

上村知義

性別	男	男	男	女	女	男	男	女	女
出生兒	美沙樹	愛未琉	凜成	那望	夕昊	颯大	晃哉	季	晴
みさき	あみる	れお	りんせい	なみ	ゆう	はやた	こうや	はるき	ふりがな

ごめい福をお祈りいたします（2月28日まで届出分・敬称略
香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださいました。故人のごめい福をお祈りいたします。



西ノ園ひらり 植村聴診器

早よ飲もち風呂はあの水浴びい
(唱) 一日働れた後ん晩酌

招待客が早々つまづ慌て母
(唱) まだ吸物どま煮えてもおらじ

早よ迎め来ち大て声で姑御ん鉢

(唱) そげん言かたで医者様へ通つ

百点が超特急で帰つ来つ

(唱) 早見すこしたい嬉しかテスト

ひやつんちうとうゆう 諸木小春

ひやつんちうとうゆう 諸木美舟

可憐ぜ始御早々つ箸しゆ握つ待つ
(唱) 二度童子しなつきた認知症

むしゆうじよなややう 本村虎王

歌の友ら和服姿の晴ればれと 今日のひと日を淑女となりて	内田ちどり
桜湯を運び来る娘を伏せて待つ	山下 初枝
夫の指先くつと音する	溝口 稔
キヤベツの葉まだ幼きがより合うて 丸くなりゆく気配を見せる	鞍ときて湯氣立つ馬や雪しぐれ
行鵬 泰子	旅帰り皆名物の大根漬
大津波三十四メートルの高さと言う	出初式ラツパのひびき雨の中
我が家などすつぱり呑みこまれよう	三浦 倫子
大和 元直	二見 淑子
裏白の渦巻映ゆる初明り	葉牡丹やふところ深く田舎寺
世に遅れゆく思いのしきり	内村美恵子
注文は <small>うむじ</small> ://……と標しあり	折田 スズ
宮下 のし	